

泉の子

令和3年10月1日

泉小学校

学校便り 臨時号

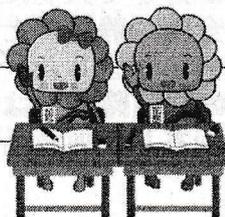


「緊急事態宣言」が解除！

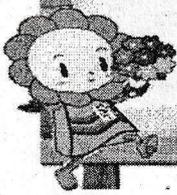
「緊急事態宣言」が解除されたことに伴い、浜松市の「**学校の行動基準**」も**レベル3からレベル2に下がりました**。本校でも、レベル2になったときの対応について、変更前から検討を重ねてきました。

その結果、感染予防対策を徹底しながら、以下のように対応していきます。御理解・御協力のほど、よろしくお願いいたします。

| | |
|-------------|--|
| 学習活動 | <p>☆ 感染リスクの低い活動から、徐々に実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の「接触」「密集」「近距離での活動」「向かい合っでの発声」については、可能な限り避ける。 実施する場合には、一定の距離を保ち、同じ方向を向くようにし、また回数や時間を絞るなどして実施する。 <p>(浜松市のガイドライン・通知より)</p> |
| 委員会活動 | ☆ 実施 |
| ペア活動 | ☆ 実施 |
| 給食 | ☆ 牛乳パックや残菜等の片付け方は、 9月のやり方を継続 |
| 縦割り清掃 | ☆ 実施 |
| 修学旅行 | ☆ 12/6(月)、7(火)に延期 |
| 林間学校 | ☆ 10/5(火)に日帰りで実施 |
| 学習発表会 | ☆ 中止 |
| 校外学習 | ☆ 実施 |
| 外部講師による指導 | ☆ 実施 |
| PTAボランティア | <p>1月以降、「学校の行動基準」がレベル2となり、ボランティアの方のリスクを考慮し、校舎内での支援を休止してきた。しかし、ワクチン接種が進み、リスクが軽減されてきている。</p> <p>そこで、子供たちの学習等を充実させていくため、校舎内においてもボランティアによる支援を実施していきたい。</p> <p><u>現在のコロナ禍の状況を理解したうえで、御協力いただける方に、ボランティアをお願いしたい。</u></p> |
| CSの学習ボランティア | |



子供たちが目標をもって取り組む活動や協力して楽しさを味わう活動等を、学年ごとに計画し、実施していきます。



泉の子

令和3年10月4日
泉小学校
学校便り 臨時号



令和3年度全国学力・学習状況調査の結果

5月27日に6年生が実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されましたので、全国及び県の結果と比較して本校の様子をまとめました。

(1) 教科に関する調査結果の概要

〈国語〉 全国や静岡県に比べ、全体的に改善が必要です。全国や静岡県に比べると「知識・技能」「思考・判断・表現」に関わる事項で課題があります。また、問題の形式については、言葉を書いて答える「記述式」の回答が苦手です。本校の児童の正答率の中ではいくつかの選択肢の中から答える「選択式」の回答が、比較的得意と言えます。

〈算数〉 全国や静岡県に比べ、全体的に改善が必要です。全国や静岡県に比べると「思考・判断・表現」に関わる事項で課題があります。また、問題の形式については、言葉を書いて答える「記述式」の回答が苦手です。本校の児童の正答率の中ではいくつかの選択肢の中から答える「選択式」の回答が、比較的得意と言えます。

(2) 児童質問紙に関する調査結果の概要

「学校に行くのは楽しい」「友達と協力するのは楽しい」「人の役に立つ人間になりたい」等の項目が全国や静岡県に比べ10ポイントほど高く、**学校生活を楽しく過ごし、よりよい自分に向かって活動している児童が多い**ことが分かりました。また「自分には、よいところがある」「将来の夢や目標を持っている」と答えている児童が全国や静岡県と比較して高く、浜松市の目指す子供の姿「自分らしさを大切に作る子供」を具現化していると考えます。

「学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」「国語の勉強が好きで大切だと思う」「算数の勉強は大切だと思う」「外国語の勉強が好き」などの項目が全国や静岡県と比較して高く、**学習の意識を高く持ち、楽しく授業に取り組んでいる**ことが分かりました。

反面、「**学校の授業時間以外の勉強時間**」は全国や静岡県と比較して低く、今回の調査での回答時間が「十分だった」と回答した児童も全国や静岡県と比較して少なかったことが分かりました。

(3) 今後の改善点

国語科、算数科ともに、教科に関する調査結果からは「選択式」の回答に比べ、「**記述式**」の回答が苦手であることが分かりました。「記述」が苦手であることから、「回答時間が十分ではない」と感じています。一方、「話し合い活動をする」ことについては全国や静岡県と比べて自己評価が高く、**話し合い活動が得意**と言えます。

改善点として、得意な「話し合い活動」で深めたり広げたりした考えを、「書く活動」でまとめていくことで、「記述」に対する苦手意識をなくしていくことを授業で取り組んでいきたいと思えます。

また、児童質問紙に関する調査結果から**学校生活を楽しく過ごし、よりよい自分に向かって活動していたり、学習の意識を高く持ち、楽しく授業に取り組んでいた**りしていることが分かりました。この良い傾向をさらに支援し、学校目標である「自ら学び 共に考え 成長する子」の具現化に向けて職員一同努力していきたいと思えます。